岐阜県修学資金受給者数と第1種返還免除要件

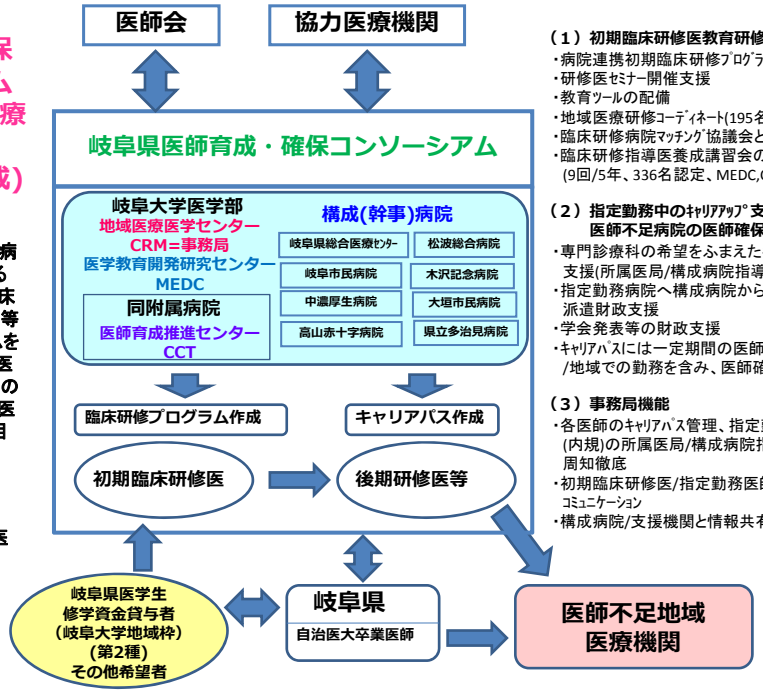
学年	2008年度		2009年度		2010年度		2011年度		2012年度		2013年度		2014年度		合計
	1種	2種	1種	2種	1種	2種	1種	2種	1種	2種	1種	2種	1種	2種	
岐大-M1	10	16	15	3	25	3	25	2	25	6	25	7	25	1	188
岐大-M2		3		1				2		2		1		2	11
岐大-M3		3		1						1		1		2	8
岐大-M4		1		5											6
岐大-M5		4		3											7
岐大-M6		3		8		1		1				1			14
他大学		17		4		6		5		3		5		5	45
合計	10	47	15	25	25	10	25	10	25	12	25	15	25	10	279

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
所属	医学部医学科 卒前教育(6年)						研修指定病院		指定勤務								
	★地域枠以外の入学者と同一カリキュラム ★医学科全学生平等に地域医療に触れる機会あり						岐阜県内の臨床研修病院 (23)		①うち2/3年（6年）は、知事が指定する県内の医療機関に勤務。 ②1/3年（3年）は、大学を含む県内の医療機関に勤務。この間、大学院入学可能。申請すれば4年を上限に県外(国外を含む)での研修・研究可能。								

岐阜県医師育成・確保コンソーシアム＝岐阜県地域医療支援センター(H22年9月結成)

【目的】
岐阜大学医学部、同附属病院と研修医等が多く集まる病院が、効果的な初期臨床研修の実施と後期研修医等を育成するコンソーシアムを組織し、県内の臨床研修医の増加と医師不足地域への派遣により岐阜県の地域医療の確保に資することを目的とする。

【主な機能】
医師会や協力医療機関との連携のもとに、岐阜県医学生修学資金制度と一体的に運用し、研修医が安心できる教育体制整備とその質向上による育成力強化に基づく医師確保を達成する。



（1）初期臨床研修医教育研修機能強化
・病院連携初期臨床研修ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの策定
・研修医ｾﾐﾅｰ開催支援
・教育ﾂｰﾙの配備
・地域医療研修ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ(195名/5年)
・臨床研修病院ﾏｯﾁﾝｸﾞ協議会との連携
・臨床研修指導医養成講習会の開催(9回/5年、336名認定、MEDC,CCT協力)

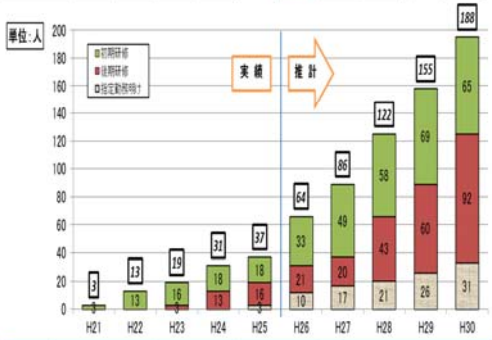
（2）指定勤務中のｷｬﾘｱｱｯﾌﾟ支援と医師不足病院の医師確保
・専門診療科の希望をふまえたｷｬﾘｱｱｯﾌﾟ支援(所属医局/構成病院指導医と連携)
・指定勤務病院へ構成病院から指導医派遣財政支援
・学会発表等の財政支援
・ｷｬﾘｱﾊﾟｽには一定期間の医師不足病院/地域での勤務を含み、医師確保に寄与

（3）事務局機能
・各医師のｷｬﾘｱﾊﾟｽ管理、指定勤務ルール(内規)の所属医局/構成病院指導医への周知徹底
・初期臨床研修医/指定勤務医師とのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ
・構成病院/支援機関と情報共有・連携

修学資金貸与者卒業後の状況とｺﾝｿｰｼｱﾑの特徴

第1種（地域枠）、第2種の合計　※（ ）内は地域枠　H26年12月1日現在

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
希望マッチング数	3	10	6	12	6	27(10)	22(13)	36(25)	33(26)	32(22)
初期研修	3	13	16	18	18	33	49	58	69	65
後期研修			3	13	16	21	20	43	60	92
指定勤務明け					3	10	17	21	26	31
合計	3	13	19	31	37	64	86	122	155	188



＊H27年度以降、第1種は28名、第2種は10名に対し、第1学年に貸し付けるものとして計算
＊返還免除となる期間に限る人数計算

① 研修医や義務年限医師が、「岐阜県内の病院で勤務すれば自分自身が成長できる」という実感を得られるような(ドロップアウトも少なくなる)指導・医師育成体制の確立なくして医師確保はできない、との基本理念に基づいて体制整備した。
② コンソーシアムという岐阜大学主導でも岐阜県主導でもない中性的な体制を取ることによって、この基本理念を岐阜県内病院のすべての指導者が共有できるとともに、岐阜大学関連病院のみならず名古屋大学・名古屋市立大学等県外大学関連病院とも一丸となった育成システムを提供できる。
③ 指導医派遣システムや臨床研修指導医養成講習会の開催などを通じて、構成病院以外の医師不足病院でも医師育成ができる＝医師派遣を受けることができる体力をもてるよう配慮している。
④ 初期臨床研修2年次の地域医療研修を、都市部の医師数が比較的充足している病院の研修医が、地域の医師不足病院とその周辺の診療所などで策定される地域医療研修プログラムを選択できる体制をコンソーシアムがコーディネートし、研修医が患者の診療動線に寄り添った真の地域医療を体験できるとともに、派遣元病院と派遣先病院の連携体制強化に寄与している。
⑤ 岐阜県内病院の医師派遣は、現状でも多くが大学医局人事の体制で継続しており、今までどおりの医局人事・医師派遣のシステムを崩さず、しかも義務年限のルールに従ったキャリアパス策定を医局人事担当者に説明を尽くすことに注力している。これは岐阜大学のみならず、他県大学医局の医師派遣システムでも同様である。
⑥ コンソーシアムは実際のキャリアパス策定にあたっては、医師本人の意向を踏まえ、医局および指導医と連携しながら、ルールを遵守したキャリアパス策定支援および管理・記録を行う。
⑦ コンソーシアム事務局を岐阜大学医学部附属地域医療医学センター(Center for Regional Medicine:CRM)に置くことによって、岐阜大学医学部医学科学生卒前～卒後のシームレスな育成体制構築に役立っている。さらに、他県大学、岐阜県、医師会、病院協会、地域医療振興協会、全国地域医療教育協議会などとの風通し良い連携実現につながっている。

修学資金受給者卒業後の状況(H27年4月1日時点)

診療科別

H27年3月18日現在

	脳外	心血外	消外	整外	救急	産婦	小児	他の内	総合内	神内	血液内	糖尿病内	循内	消内	呼内	腎内	泌尿	精神	眼	耳鼻	麻酔	皮膚	放射線	初期未定	合計
人数	2	1	3	1	1	1	1	1	2	2	1	2	2	3	1	1	2	1	1	3	2	2	1	48	85
入局者	2	(1)	3	1		1				1	(1)	2	2	3		1	2	1	1	3	(1)	1	1	入局率 28/37(75.7%)	

（ ）は名古屋大学医局入局者

圏域別

圏域	岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨	県外	合計
初期研修	29	5	7	0	7	0	48
指定勤務	11	2	0	1	4	3	21
指定明け	8	3	0	0	3	2	16
合　計	48	10	7	1	14	5	85

卒業大学

	岐阜	旭川医	新潟	富山	福井	浜医	名古屋	名古屋市	島根	愛媛	高知	大分	宮崎	合計
人数	67	1	1	1	3	1	1	1	2	4	1	1	1	85

医学部医学科入学定員及び収容定員の増減について

年度	始期	終期	（恒常的）入学定員	（期間付）入学定員	増員	減員	1年	2年	3年	4年	5年	6年	収容定員	備考
H19年度	H19．4	H20．3	80人	80			80	80	80	80	80	80	480	
H20年度	H20．4	H21．3	80人	90	10人		90	80	80	80	80	80	490	・10人増 ・10年間の期限（H20年度～H29年度）
H21年度	H21．4	H22．3	80人	95	5人 （15人）									・5人増 ・9年間の期限（H21年度～H29年度）
			85人	100	（15人）		100	90	80	80	80	80	510	・5人増 ・恒常的なもの
H22年度	H22．4	H23．3	85人	107	7人 （22人）		107	100	90	80	80	80	537	・7人増 ・10年間の期限（H22年度～H31年度）
H23年度	H23．4	H24．3	85人	107	（22人）		107	107	100	90	80	80	564	
H24年度	H24．4	H25．3	85人	107	（22人）		107	107	107	100	90	80	591	
H25年度	H25．4	H26．3	85人	107	（22人）		107	107	107	107	100	90	618	
H26年度	H26．4	H27．3	85人	107	（22人）		107	107	107	107	107	100	635	
H27年度	H27．4	H28．3	85人	110	3人 （25人）		110	107	107	107	107	107	645	・3人増 ・5年間の期限（H27年度～H31年度）
H28年度	H28．4	H29．3	85人	110	（25人）		110	110	107	107	107	107	648	
H29年度	H29．4	H30．3	85人	110	（25人）		110	110	110	107	107	107	651	
H30年度	H30．4	H31．3	85人	95	（10人）	△15人 110－15	95	110	110	110	107	107	639	
H31年度	H31．4	H32．3	85人	95	（10人）	（△15人） （110－15）	95	95	110	110	110	107	627	
H32年度	H32．4	H33．3	85人	85		△10人 95－10	85	95	95	110	110	110	605	
H33年度	H33．4	H34．3	85人	85			85	85	95	95	110	110	580	
H34年度	H34．4	H35．3	85人	85			85	85	85	95	95	110	555	
H35年度	H35．4	H36．3	85人	85			85	85	85	85	95	95	530	
H36年度	H36．4	H37．3	85人	85			85	85	85	85	85	95	520	
H37年度	H37．4	H38．3	85人	85			85	85	85	85	85	85	510	

岐阜県医師育成・確保コンソーシアム
＝岐阜県地域医療支援センター
（H22年9月結成）

医師会　　協力医療機関

↕

岐阜県医師育成・確保コンソーシアム

岐阜大学医学部
地域医療医学センター
CRM＝事務局
MEDC＝協力

同附属病院
医師育成推進センター
（卒後臨床研修センター:CCT）

構成（幹事）病院

岐阜県総合医療センター	松波総合病院
岐阜市民病院	木沢記念病院
中濃厚生病院	大垣市民病院
高山赤十字病院	県立多治見病院

臨床研修プログラム作成　　キャリアパス作成

初期臨床研修医 → 後期研修医等

岐阜県医学生
修学資金貸与者
（岐阜大学地域枠）
（第2種）
その他希望者

↔ 岐阜県
自治医大卒業医師 → 医師不足地域医療機関

目的

岐阜大学医学部、同附属病院と研修医等が多く集まる病院が、効果的な初期臨床研修の実施と後期研修医等を育成するコンソーシアムを組織し、県内の臨床研修医の増加と医師不足地域への派遣により岐阜県の地域医療の確保に資することを目的とする。

主な機能

医師会や協力医療機関との連携のもとに、岐阜県医学生修学資金制度と一体的に運用

業務

1 初期臨床研修医の教育研修機能
- 特色ある初期臨床研修プログラムの策定
- 初期臨床研修医に対する教育
- 岐阜県臨床研修病院協議会への積極的参画

2 後期研修医等のキャリアアップおよび医師派遣機能
- 後期研修医等の希望をふまえたキャリアパスの作成
- キャリアパスには一定期間の医師不足地域での勤務を含むものとし、本人のキャリアアップと医師不足の解消に寄与
- 必要に応じて地域の病院へ指導医を派遣

3 岐阜大学医学部地域枠および第2種修学資金受給後の卒業生の受け皿としての機能
- 地域枠の卒業生等は原則として、所属医局、構成病院指導医等が連携して作成する研修プログラム、キャリアパスにより研修、勤務を行う。コンソーシアム事務局がこれを支援・管理する。

4 その他
- 初期臨床研修指導医養成講習会を年2回、これまで合計6回実施。のべ225名の指導医養成

お気軽にお問い合わせください

岐阜県医師育成・確保コンソーシアム事務局
〒501−1194　岐阜市柳戸1番1
岐阜大学医学部附属地域医療医学センター内
TEL 058−230−6093

岐阜県健康福祉部地域医療推進課
〒500−8570　岐阜市薮田南2−1−1
TEL 058−272−1111（代表）

岐阜県医師育成・確保コンソーシアム事務局からのメッセージ

岐阜大学医学部附属
地域医療医学センター長
教授
村 上 啓 雄

岐阜県医師育成・確保コンソーシアムは、岐阜県医学生修学資金(第1種)を受給している岐阜大学医学部医学科地域枠学生、および同修学資金(第2種)を受給している医学生(岐阜大学および他大学学生を含む)が、修学資金返還免除条件にある、岐阜県内研修病院での2年間の初期臨床研修とそれに続く指定勤務(第1種では9年間、第2種では修学資金受給年限で最低2年間)の間、安心して自分自身のキャリアアップができ、また同時に医師不足地域での勤務を通じて地域医療の醍醐味である患者中心の医療を経験することにより、それぞれの専門領域の中で幅広い臨床能力を身につけ、結果的に医師不足地域の医療の確保につなげるために結成されたものです。

コンソーシアムは、研修医の皆さんにとって、岐阜県では医師として着実に成長できる実感が得られるよう、また指導する側にとっては教育によって自らのレベルアップや充実感を持てるよう、さらに地域住民にとっては地域医療の確保につながるよう、岐阜県内の全医療従事者が一丸となって「教育」をキーワードに、オール岐阜で、皆さんの医師としてのキャリアアップを全面的に支援していきます。

キャリアパスの事例

これはほんの一例です。あなたの希望に沿ったオーダーメイドのキャリアパスの提案をします。

循環器内科専門医希望

年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
研修病院	岐阜県内研修指定病院		松波総合病院 循環器内科		岐阜大学病院 循環器内科	岐阜 赤十字病院 循環器内科	郡上 市民病院 循環器内科	岐阜県内 私立A病院	郡上市 国保白鳥病院 循環器内科	白鳳会 鷲見病院 循環器内科	岐阜大学病院 循環器内科
備考	当該病院の カリキュラムに従う			日本内科学会 認定医取得			日本循環器 学会 専門医取得	日本内科学会 総合内科 専門医取得			

消化器内科専門医希望(大学院希望者)

年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
研修病院	岐阜県内研修指定病院		羽島市民病院 消化器内科		下呂温泉病院 消化器内科		中濃厚生病院 消化器内科		岐阜大学病院 消化器内科 (一定期間、岐阜県内私立病院も可能)			
備考	当該病院の カリキュラムに従う			日本内科学会 認定医取得			日本消化器病 学会 専門医取得	日本内科学会 総合内科 専門医取得	社会人大学院 入学			学位取得

総合医・家庭医希望(CRMがコーディネート)

年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
研修病院	岐阜県内研修指定病院		市立恵那病院 内科		郡上市地域医療センター 国保和良診療所		揖斐郡北西部 地域医療センター 久瀬診療所		岐阜大学病院	岐阜県内 私立B病院	
備考	当該病院の カリキュラムに従う			日本内科学会 認定医取得			家庭医 認定資格	日本内科学会 総合内科 専門医取得			

脳神経外科専門医希望

年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
研修病院	岐阜県内研修指定病院		岐阜大学病院 脳神経外科	高山 赤十字病院 脳神経外科	岐阜市民病院 脳神経外科	岐阜県総合医療センター 脳神経外科		岐阜大学病院 脳神経外科	木沢記念病院 脳神経外科		岐阜大学病院 脳神経外科
備考	当該病院の カリキュラムに従う		国内症例 経験施設 に留学 ～6ヶ月 以内				脳神経外科 専門医受験				

呼吸器内科専門医希望(名古屋大学関連施設)

年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
研修病院	岐阜県内研修指定病院		中津川市民病院 呼吸器内科		県立 多治見病院 呼吸器内科	大垣市民病院 呼吸器内科		岐阜県内 私立B病院	JA厚生連久美愛病院 呼吸器内科		県立 多治見病院 呼吸器内科
備考	当該病院の カリキュラムに従う			日本内科学会 認定医取得			日本呼吸器 学会 専門医取得	日本内科学会 総合内科 専門医取得			